



ADVANCE

JTSU-E 横浜運輸区分会



JR東日本輸送サービス労働組合
発行日：2023年2月14日

No. 016

発行責任者 坪 洋亮 編集 情宣部

～南武線ワンマン運転を考える～

JR東日本は1988年にワンマン運転を開始し、短編成・中編成ワンマン運転が実施されています。横浜支社管内では、南武支線、相模線、鶴見線がワンマン運転となっており、2025年の春には南武線にも導入されようとしています。南武線ワンマン運転はJR東日本初の長編成ワンマン運転となる計画です。

南武線ワンマン計画

実施区間 南武線(川崎～立川間)

- ・ドア扱いは車載ホームモニタシステムを使用しワンマンドアスイッチ(タッチパネル式)を操作する。
 - ・放送案内は自動放送装置により行い、必要により車内マイクにより案内放送を行う。
 - ・非常通報装置が扱われた場合、お客さまが指令と連絡を取れる「指令客室間通話機能」と「指令室から列車内への放送機能」を導入する。
 - ・ホームドア整備後にワンマン運転を実施する。
- 2023年 社員説明
2024年 車両改造、訓練、
2025年春 南武線ワンマン運転実施

ワンマン運転実施線区では、これまで流転、触車、停止現示で起動などワンマン運転にまつわる事象は各地で相次いでいます。これらの事象は、ワンマン運転によりこれまでの運転操縦に加え、乗降確認やドア扱いなど作業量が増えたことに起因するものです。

現在、南武線ワンマン運転に向けた車両改造・訓練が実施されていますが、私たちは、これまでの短・中編成ワンマン運転の課題解決と安全はもちろんのこと輸送サービスの向上につながるワンマン運転は行うべきではない。と考えています。

ワンマン運転は各線区に拡大していく計画です。

南武線だけの課題ではありません。

**私たち JTSU-E は安全・安心な鉄道を走らせるため、
ワンマン運転をみんなで考えていきます！**

南武線ワンマン運転に対して
意見をお聞かせください！

